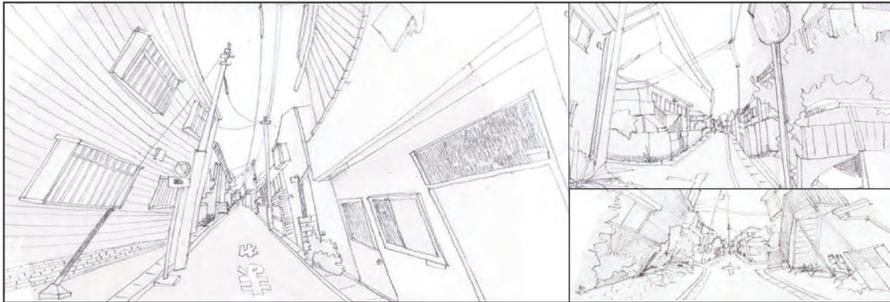


広くて明るい部屋

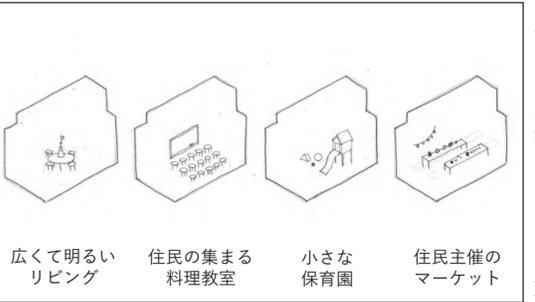
広くて明るい部屋を住宅密集地につくります。

東京の住宅街は小さなスケールが連続しています。小さなスケールは人間の身体に親みやすくはありますが、過剰に連続するとともに窮屈さを感じることがあります。本提案はこれらの小さなスケールを包み込むような木造の大きなスパンによって、太陽光が降り注ぎ、広々として、かつプライバシーが守られる部屋を東京の住宅街の中につくります。

この、都市の中の広くて明るい部屋は、小さくて暗い部屋ではできなかった様々なプログラムを可能にします。この部屋を周辺住民とシェアすることを通して、プライベートスペースの連続になってしまいがちな住宅街の中で新しい生活を住民とともにつくっていきます。



都心の住宅密集地は、道に面した看板や駐車場、車、電柱、鉢植え、塀など、小さなスケールのものに所狭しと埋め尽くされています。私たちはそれらを包み込むような広くて明るい部屋を東京の都市の中に提案します。



広くて明るい部屋は、プライバシーの確保された住宅のリビングとして利用するとともに、自由にレイアウトを変えて様々な活動を招き入れる余白を持っています。近所の子供を預かったり、友達とマーケットを開いたり、料理教室を開いたり、新しいかたちのシェアスペースとしての役割を持つことができます。またシェアによって周辺の住民の生活を豊かにしつつ住宅のランニングコストを抑え施工費を回収することもできます。



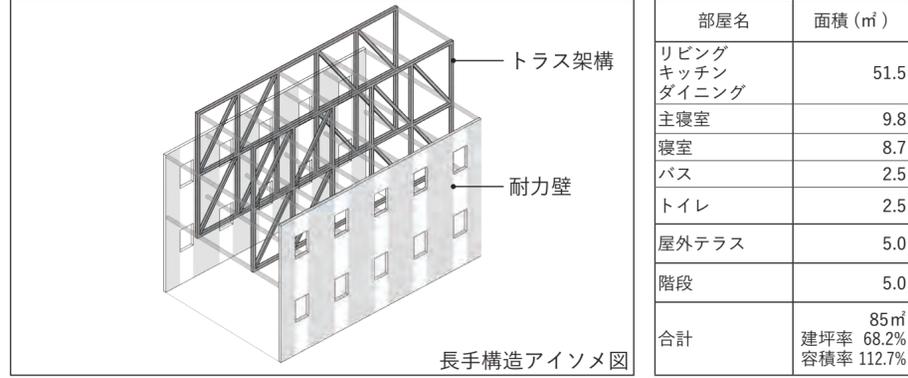
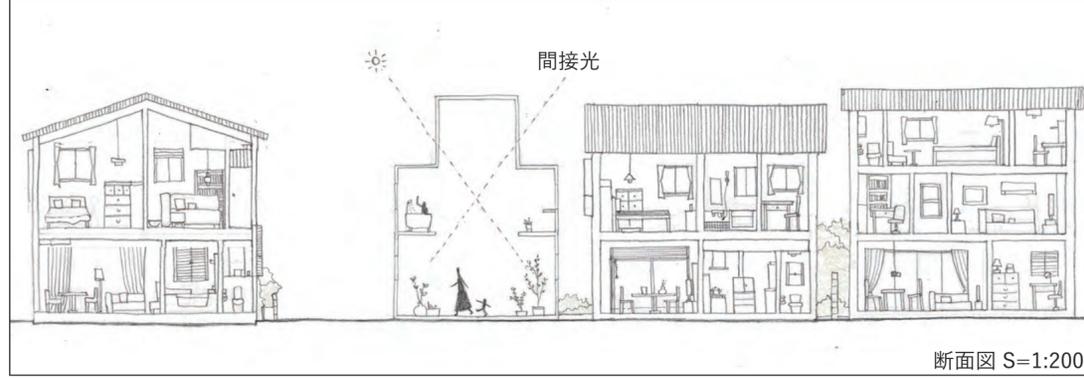
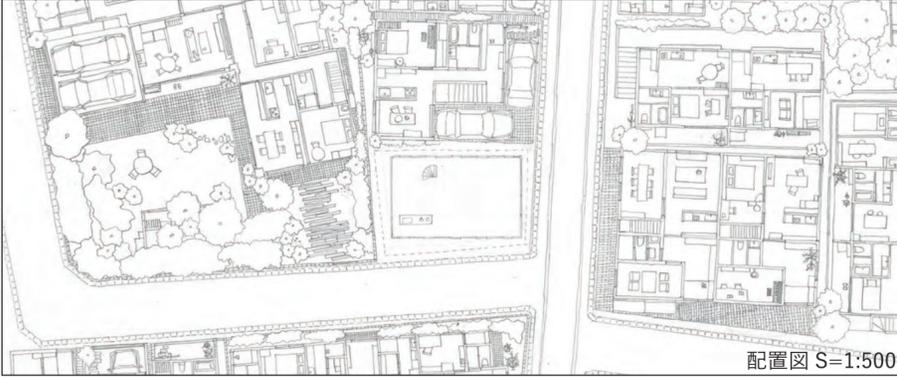
広くて明るい部屋、吹き抜け高さは 8000 程の柱なしの一室が都市の中につくられます。



主寝室、壁でプライバシーを確保しつつ、窓からは通りの風景が見えます。



外観、自然光をおおきく取り入れる窓が配されています。



部屋名	面積 (㎡)
リビング キッチン ダイニング	51.5
主寝室	9.8
寝室	8.7
バス	2.5
トイレ	2.5
屋外テラス	5.0
階段	5.0
合計	85㎡ 建坪率 68.2% 容積率 112.7%

都心の限定された敷地面積の中で、多くの住宅は部屋を均一に大きくするため、どの部屋も小さなスケールのままになりがちです。本提案の広くて明るい部屋は、周辺の住宅にとっても広くて明るい部屋となります。この部屋は家のリビングダイニングであり、住宅街のリビングルームとして、周辺住民にシェアされます。さまざまな教室やサロン、イベントや保育園などが行われ、一般的な住宅では生まれなかった活動が生まれます。

吹き抜け空間を中心に設けることで周辺の住宅に比べ天井高が高く開放的な空間を実現します。8mの高さの吹き抜け上部の開口部から光が入り一階、二階を明るく照らします。一階、二階の壁面は各居室に必要な分の開口があけられ、プライバシーを保ちつつ住宅街の通りを眺めることができます。また、この吹き抜け空間を利用して、一階部分と吹き抜け頂部の開口を開けることで、煙突効果によって風が常に流れるパッシブな建築を実現します。

二層分の木のトラス架構を入れることにより、長辺方9100mmスパンを飛ばします。この架構によって、一階は柱の無い9100x5660の一室空間をつくることができます。また、この二層分のトラス架構は吹き抜けとなっており、頂部にはハイサイドの開口が設けられ、下階へ自然光を取り入れることができます。

リビングダイニングを角地で緩和される建坪率上限までつくります。各居室も快適に生活できるだけの面積を確保し、容積を抑え、コストコントロールします。